

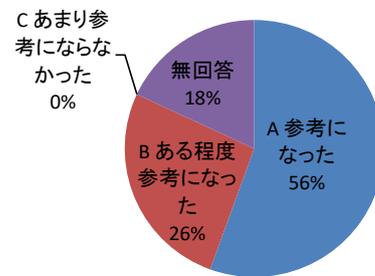
2-10	各科目の感想「障害のある人の人権」
B	知らない世界のことだと思っていたが、人は皆同じ。
B	
B	
B	
A	障害者の暮らしぶりが分かった。
A	
A	
A	どんな困難が多いかと思いますが、力強い心と前向き心が感動しました。
A	障害がある人は、本人もえらいが家族(両親)もえらいということを実感できた。
B	周りの人の協力、理解があれば、障害者でも夢は叶う。私の近くにもたくさんいます。
A	勇気づけられる。
A	
A	加藤さんとても楽しそうですね。皆が認めあいカバーしあえば素晴らしい世の中になると思います。
B	
A	なかなか自分の気持ちや夢を、健常者でも多くの人中で話すことは難しいし勇気がいること。これからも活動を続けて欲しい。
A	
B	
A	お母さんと息の合ったコンビネーション、ことばのひとつひとつが生き生きと伝わってくる。お母さんが若々しい！
A	頑張りに感動を受けた。
B	
B	
B	頑張っていることは認めるが、自分が苦しくなる。お母さん方の講演を聴きたい。
B	
A	
A	PDCAサイクルの導入には問題点をよくふまえて欲しい。具体的に本人からのメッセージを聞いたことがよかった。
A	
B	物理的な障がいとは本人の意志と努力で取り払える。健常者も同じ。周りとの関係性が人を育てる。感謝をもつことが大事
B	一音ずつ読み上げるのは意味がわかりにくく、不要な時間がかかったと思う。
A	すごいバイタリティーでした。家族の方のすばらしさ。
A	実体験をもとに話を進めてもらったのが良かった。
A	小さなことから改善できるものは改善していこうと感じました。
A	時間がもっと欲しかった。
A	障害のある人も自分たちといっしょだと、本人の話で聞いて実感できた。学びも気づきも大きかったです。大変有意義でした。
A	本人から、本人の気持を直接聞いて良かった。
A	障害の程度もありますが、大学を目指したと言う事ですごさを感じました。
B	
A	
B	参考になり、指導者として拮げていきたいです。
A	
A	加藤啓太さんという障害をもった方が講師で驚きましたが、自分のことを堂々と「あきらめない人生」を話してもらい、知ることができた。人権を大切に生きる姿を学べた。
A	あるがままの自分の力を輝かせる可能性に目をむけたいです。
A	加藤啓太さんの生き方に感動と力を貰いました。
A	
A	多くの人に伝えていく事が大事だと思います。
A	加藤さん、周りの方の努力と意志の強さ、勇気に感銘しました。
A	本人の思いを直接伺えて良かったです。私の少しの気持ちや誰かの助けになるのかなと思いました。
A	障害のある方の声を生でできて良かったです。人はやはりどんな障害を持っているかではなくて、どう生きていくかが大切だと改めて思いました。
A	“みんな違ってみんないい”のとおり、その人の個性と考え、その人の思いが実現できるサポート体制を充実させることが大切だと痛感した。諦めないでまわりを説得してつきすすめるってすごい能力だと思いました。
A	
A	精神的に前向きな方の姿勢には、かまえることなく接していこうと思います。障害をかかえて悩んでいる方の場合の接し方をもう少し具体的に知りたいと思った。
B	障がいのある方の話だったので、ストレートに入ってきた。障がい者も健常者も同じであるとつくづく思った。その人に合った援助があれば、同じように社会の中で生きていくことができるとつくづく感じた。
A	障がいのある人の具体的な話をきくことができ、印象に残る言葉もたくさんあり良かった。
A	
A	重度の障害を持っていても夢を持ちチャレンジ精神を発揮して前向きに生きていくすばらしさを学べた。
B	
A	実際の障害者の方が来てくれたので(体感として)学ぶことが多かったです。

B	
A	障害者は特別な存在ではない。
B	時間がないので、終了時間が気になり、もう少しゆっくり聞きたいので残念。
A	
A	

単位(人)

- 40 A 参考になった
- 19 B ある程度参考になった
- 0 C あまり参考にならなかった
- 13 無回答
- 72 合計

各科目の感想「障害のある人の人権」



4-1 「本講師の話を再度聴きたいと思いますか？」	
A	
B	特に新鮮さを感じられなかった。
A	もっと時間のゆとりがあればよかったです。まだまだ伝えたいことがあったのではないかと思います。
B	
A	皆に生きる力を与えて欲しい。
A	当事者の話はなかなか聞く機会が少ないため。
A	私たちに対する偏見もあるのでは？
B	時間がかかること以外は、ゆるせる。言語表現ツールが発達すればその部分はクリアできる。一方的な話ではなく話し合いたかった。マジョリティの人たちの中には「こんな不便な社会でゴメン」と言う気持ちの人もあります。
A	障害のある・・・ことをどうとらえるかが大切であるので。
A	時間不足で本人も十分話し尽くせなかったのではないかと感じたから。
A	
A	ちょっと時間が短かった。
A	
A	
A	
B	ご活躍をお祈りします。
A	
B	
A	終わらない挑戦に取り組んでおられるので次回の話でもきっと新しい失敗やチャレンジの話が聴けると思うから。日々変わる講師の姿に接したい。
A	時間をかけて聞いてみたい。 ・どう生活しているか ・大学生活は ・社会人になっての仕事 ・ボッチャのきかっかけ、活動等
A	
B	
B	別な障害のある方の話も必要と思います。
A	時間が足りなかった。自立するには仕事がビジネスとして成り立たなければならないと思いますが、その点をもっとくわしくどうされているか聞きたかった。
A	すごい研修会でした。
A	
B	一音ずつ読み上げるのは時間がかかり意味もわかりにくかった。文章で打ち出しておいていただいたほうがよく理解できた。障がい者も健常者も1人ずつ違うので障害全てにわたる理解は難しい。様々な研修を受けてきたから。
A	皆に知ってもらいたい(講師の生き方を)。
A	
A	直接聞くと重みが違う。
B	
B	
A	嫌だと思ったこと つらかったこと 差別されたことの体験等 (優先席のことは話されましたが…)
A	
A	
A	自立(心の)がすばらしいです。
A	
	C: 答えにくい 今後の研修に来られる人権擁護委員の方の気持ちがおしはかれない。
A	私自身も障害があるので、必要なのは実感です。
A	パワーをいただいたし、多くの人に知ってもらいたいと思う。
A	もう少し時間があればご本人の思いが伺えたのにとおもいます。
A	あきらめない気持ちにとっても元気をもらいました。そのようなお子さんを育てたお母さんの子育てもきいてみたかったです。
A	当事者のお話は素晴らしい。
A	
A	今に至るまでの「かっとう」を、前向きになった過程を知りたいと思った。
A	
A	
A	
A	母親でなく、ちがった形態で本人からの思いを聞き出せたら、別の視点でのお話も聴きたいと思いました。(時間的なものがあり、今回はし方ないが。)
A	

B	大方, その意を理解できたから。
A	ただし, ゆっくりでも良いから, 本人の話が聞きたい。タッチパネルのようなもので筆記会話は無理なのですか?
A	再度理解を深めたい。楽しかった。
	C:時間があるときにまた聞きたい。一生懸命話されていると思いますが, 遠方から来られている。
A	障がい者の強さを聴きたい。

問「本講師の話を再度聴きたいと思いますか？」

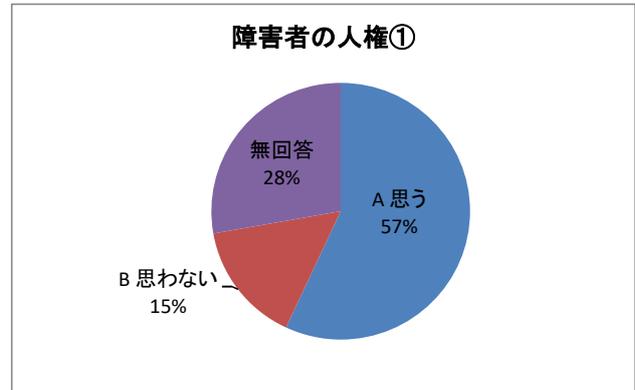
単位(人)

41 A 思う

11 B 思わない

20 無回答

72 合計



4-2	「本講義を経て障害について印象は変わりましたか？」
A	
B	
A	どんな人も自分の生き方を決められると思った。
B	
A	障害が有っても前向きに生きている姿に接し勇気がわく。
B	障がい者福祉に長く携わった経験から、再確認する意味で良かったと思う。
A	ちょっとお母さんの気持ちが出すぎ！この会場の人たちが理解ない人にみえましたか？ バリバラ(NHK)を見ているので抵抗ない。
B	【KEIさんへ】可能性が1%なんて言わないでほしい。もしかして誰かに1%とか決めつけられた？その方が受ける？可能性を1%にしているのは今のマジョリティの人たちが作る社会なので、そちらに責任があるのだから！（認知症になったり、妊婦になればわかる。）(福祉先進国(デンマークとか)の勉強もしてほしい。)
A	
B	これまで抱いていた印象とほぼおなじだった。
A	勇気が人一倍あると思った。
A	「1%の可能性を信じていれば夢はかなう。」すごい言葉です。
A	支援も重要だと思いました。
A	
A	
A	思いや希望等、健常者と同じだと良くわかりました。
B	日常の仕事で障害のある方や子ども達と関わっているので。
A	自分の夢をあきらめなければ、実現できる可能性がわずかでもある。あきらめたらそこで終わり。わずかな可能性(1%)を実現した啓太くんはすごいと思います。
B	
A	障害を否定的に見ていたが、共に生きるパートナーのように肯定的に見ることができた。加藤さんの正直さ、意欲、意志、楽しさが印象を変えた。
A	本人の気持、やる気があればいろいろできるんだと思った。
A	
B	
B	昔の札幌の小山内さんの状況を知っているので…
A	知見が広まったと思います。 *法務省の本研修会の会場までバリアフリーになっていますか。なっていませんね。行政の発想自体が変わっていない。すぐにでも取り組む課題ではないでしょうか。国会が今年の参院選の結果急遽障害者対応の工事をしたのも、大変恥ずかしく情けないことだった。
A	人間として同じということであらためて強く感じました。
A	
A	
B	新しい知見はなかった。
A	やればできるということを教わった。
A	
A	「気持ちは同じ人もいる」と言うこと。
B	身近に障害のある方と接していますので。
A	
A	障害を一般化してとらえず、1人1人の(個性、特性)という考え方で、さらに理解を深めたい。
A	
B	
A	あらためて1%の可能性にチャレンジする姿に拍手
A	一人の人間として誰もが目標をもった生き方をめざせる世の中でありたいです。加藤さんの意志決定への道すじや行動力にエネルギーをいただきました。
A	
B	知的障害、精神障害の方々へも思いを拡げた。
A	
A	障害のあるなしに関わらず強い意志と周囲の力が必要だと思う。
A	自分の少しの心しだいで、誰かの助けになるのかなと思います。
B	障害うんぬんよりも、人はそれぞれちがうので、その人が自分のもっているものをどう受け入れて、そこから出発するという意味では、皆いっしょだと思います。と改めて感じました。
A	
A	
A	今に至るまでの「かつどう」を、前向きになった過程を知りたいとは思わず、あるがままで良いのかとも思いますが、様々な方と接することがあるので、心しておきたいと思った次第です。
A	
A	
A	

B	以前、肢体不自由の養護学校に5年間勤めていて、そこでの経験の中でずいぶん障害についての思いがそれ以前と変わり、それ以降あまり変わってないと思います。当時担当していた生徒を思い浮かべました。あの頃感じた思いを再確認できました。ありがとうございました。
A	障害者についてからだに何らかの不自由なところがある人、と思っていたが、話を聞いて障害者はからだに何らかの不自由があっても本人の意思と周囲のサポートで自由になれると思った。
A	一人の人間として生き方として理解することの重要性を知った。障害者といえども健常者同様、夢実現への希望、自立への意欲を持っていることを知り良かったと思う。
B	
A	身近なものになった。「障害」は、障害がない多数人数の人がつくったもの。
A	健常者でも困難なのに、障害者でもそれに負けないで努力している。
A	一生懸命生きることと「障害」は無関係。誰も人生を大事に楽しんで生きることが大切なこと。そういう姿を具体的に知ることができた。
A	時間がかかっても自分の信念が人を変えるんだな。

Q「本講義を経て障害について印象は変わりましたか？」

単位(人)

40 A 変わった

16 B 変わらない

16 無回答

72 合計

